

■コメント

1. インフルエンザ

定点医療機関からの報告数が、111人(定点当たり3.00人)と、前週の約4.1倍に急増しました。インフルエンザは、例年流行が始まると短期間に感染が拡大するため、注意が必要です。(次頁参照)

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が4件報告されており、今シーズンの累計は7件となりました。

早めのワクチン接種、手洗いうがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

2. 感染性胃腸炎

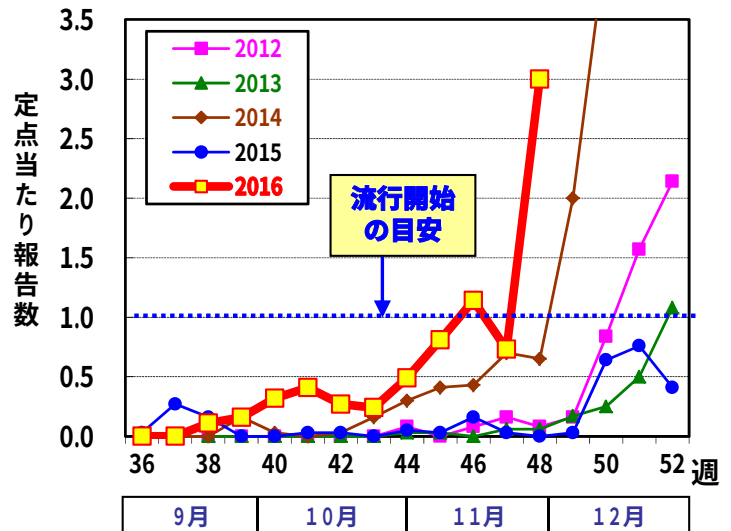
定点当たり20.9人と本格的な流行が続いており、集団発生も2件報告されています。

感染予防のため、手洗いを励行し、便・吐物の適切な処理を徹底しましょう。

3. つつが虫病

2件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	111	3.00	0.47	↑	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.77	
	咽頭結膜熱	15	0.63	0.49	↑	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	1.22	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.38	1.88	↗		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	501	20.88	9.03	→	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	1.03	
	水痘	20	0.83	1.55	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	14	0.58	0.43	↘		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.33			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.23	
	突発性発しん	7	0.29	0.39			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.08							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇐ ⇓ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇓ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	135	女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	つつが虫病	2	8	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	20	男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	22	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	15	男性(30歳代)・感染者
5	梅毒	1	22	女性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	（口タウウイルス）	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第44週	18	6	41	268	22	42	7	5	-	10	13	8	-	3	-	-	4	-	-	
		第45週	30	7	48	461	13	21	3	3	-	2	7	8	-	4	-	-	3	-	-	
		第46週	42	5	56	591	26	18	7	7	1	6	11	7	-	5	1	-	6	-	-	
		第47週	27	6	53	469	12	26	8	10	1	3	5	6	3	1	-	-	6	-	-	
		第48週	111	15	81	501	20	14	4	7	-	3	7	12	-	1	-	-	2	-	-	
定点当たり	広島市	第44週	0.49	0.25	1.71	11.17	0.92	1.75	0.29	0.21	-	0.42	0.54	0.33	-	0.38	-	-	0.57	-	-	
		第45週	0.81	0.29	2.00	19.21	0.54	0.88	0.13	0.13	-	0.08	0.29	0.33	-	0.50	-	-	0.43	-	-	
		第46週	1.14	0.21	2.33	24.63	1.08	0.75	0.29	0.29	0.04	0.25	0.46	0.29	-	0.63	0.14	-	0.86	-	-	
		第47週	0.73	0.25	2.21	19.54	0.50	1.08	0.33	0.42	0.04	0.13	0.21	0.25	0.38	0.13	-	-	0.86	-	-	
		第48週	3.00	0.63	3.38	20.88	0.83	0.58	0.17	0.29	-	0.13	0.29	0.50	-	0.13	-	-	0.29	-	-	
	全国	第46週	1.38	0.31	2.22	13.12	0.51	0.73	0.12	0.43	0.01	0.14	0.96	1.11	-	0.71	0.01	0.04	1.32	0.02	0.04	
		第47週	1.79	0.37	2.09	12.85	0.60	0.70	0.13	0.42	0.01	0.13	0.98	1.02	0.01	0.71	0.02	0.06	0.98	0.03	0.02	

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0) 咽頭炎	3	男	2016/10/29	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9) 咽頭炎	0	女	2016/09/23	糞便 尿	コクサッキーウイルスB2型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 肺炎	3	女	2016/10/15	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(38.0) 丘疹 水疱	1	男	2016/10/23	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB3型
その他の疾患	発熱(40.0)	0	男	2016/10/23	咽頭拭い液	ライノウイルス

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行開始からピークまでの期間

シーズン	流行開始時期 (定点当たり1.00人以上となった週)	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数	流行開始から ピークまでの期間
2016/17	第46週 (11月14日～11月20日)		
2015/16	第2週 (1月11日～1月17日)	第6週 (2月8日～2月14日) 57.0人	4週間
2014/15	第49週 (12月1日～12月7日)	第4週 (1月19日～1月25日) 50.6人	7週間
2013/14	第52週 (12月23日～12月29日)	第5週 (1月27日～2月2日) 21.3人	5週間
2012/13	第51週 (12月17日～12月23日)	第4週 (1月21日～1月27日) 50.6人	5週間
2011/12	第48週 (11月28日～12月4日)	第5週 (1月30日～2月5日) 29.0人	9週間
2010/11	第1週 (1月3日～1月9日)	第5週 (1月31日～2月6日) 28.5人	4週間
2009/10	第34週 (8月17日～8月23日)	第48週 (11月23日～11月29日) 40.5人	14週間
2008/09	第49週 (12月1日～12月7日)	第5週 (1月26日～2月1日) 36.7人	8週間
2007/08	第47週 (11月19日～11月25日)	第51週 (12月17日～12月23日) 14.1人	4週間

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

2009/10シーズンを除くと、流行開始からピークまでの期間は平均5.8週間となっています。

2009/10シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009が早期に流行したため、流行開始からピークまでの期間が14週間と、長くなりました。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第48週(11月28日～12月4日)